

東京からひと足で、心が震える非日常へ —あなたの知らない熱狂が待っている

昼は大空を舞う勇壮な凧揚げ。夜は一変して暗闇を彩る華やかな御殿屋台の引き回し。東京から少し足を延ばすだけで、心躍る非日常の祭りを体験することができます。

祭りの舞台は東京から新幹線でたった90分で来ることができる静岡有数の大都市浜松市です。

今回は、毎年5月3、4、5日に開催され、100万人以上の観光客が訪れる日本有数のまつり「浜松まつり」について紹介します。

浜松まつりの起源

浜松まつりの始まりは、一説によると、今からおよそ450年前に、当時の浜松を治めていた引間城主の長男誕生を祝って城中高く凧を揚げたことが、凧揚げの起源であると言われています。

浜松まつりの見どころ



〈凧揚げ合戦〉

会場：中田島砂丘

浜松まつり最大の見どころが、凧揚げ合戦です。中田島砂丘の広大な空を舞台に、市内約170の町の凧が一斉に天高く舞い、入り乱れ、凧糸を切り合うため、「ケンカ凧」と言われます。

空高く響き渡る掛け声と糸がきしむ音、各町の意地とプライドをかけて凧を揚げる姿は迫力満点です。

凧揚げ会場へは、浜松駅からシャトルバスでアクセスできます。

時間：始発9:00 終発14:00

料金：片道大人360円 小学生180円



〈御殿屋台引き回し〉

会場：浜松市中心部

夕方になると、まつりの舞台は中田島砂丘の凧揚げ合戦会場から「屋台の引き回し」が行われる浜松市中心部へと移動します。

浜松まつりの夜を彩るのが、豪華絢爛な御殿屋台の引き回しです。提灯の灯りに照らされた屋台は、精巧な彫刻や鮮やかな装飾が浮かび上がり、まるで動く芸術品。

お囃子の音色と威勢のよい掛け声に合わせて街中を練り歩く様子は幻想的で、昼間の凧揚げとは異なる魅力を感じることができます。

凧揚げ合戦と御殿屋台引き回し以外にも様々なイベントが行われています。詳細はQRをご覧ください。



公式サイト▲▲



スケジュール▲▲



全国初！『産業団地GIS・WEBマップ』で企業誘致が変わる！

企業の本県への立地検討のためのツールとして、産業インフラ等の各種情報を集約した「産業団地(GIS)マップ」とGoogle マップ上で手軽に閲覧可能な「産業団地 (WEB)マップ」を作成、3月27日に公開し、運用を開始しました。

紙媒体

全ての情報を一括表示

今後 10 年間 (令和 7~16 年度)で500haの産業団地整備の長期目標を策定。



電子媒体

以下から必要な情報のみを選択表示

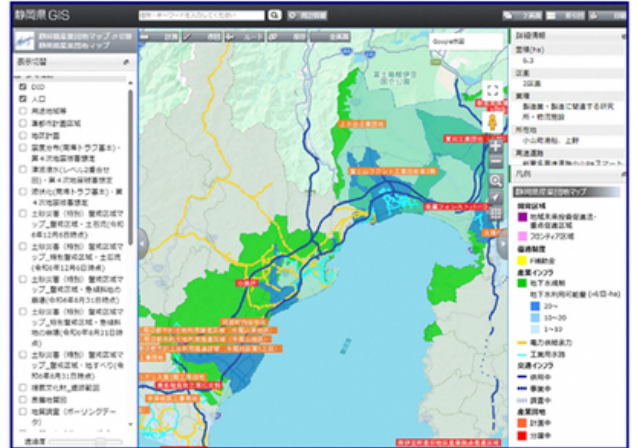
【主な参照可能な情報】

- 人口 ●用途地域等
- 地震被害想定(震度分布・津波浸水・液状化)
- 土砂災害(特別)警戒区域
- 地質調査 (ボーリングデータ)
- 開発区域
- 優遇制度(F 補助金)
- 産業インフラ(地下水・電力・工業用水)
- 交通インフラ
- 産業団地(計画中・分譲中)

詳細はこちら▼▼



<産業団地(GIS)マップ>



静岡県アンテナコーナー「おいしず」のオススメ



おいしず▼
JR秋葉原駅徒歩2分
CHABARA内
「日本百貨店
しょくひんかん」
千代田区神田練堀町
8-2 (JR高架下)

おいしず楽天市場店▼



今月のオススメ商品は、「ふじのくに新商品セレクション2025」の金賞を受賞した「三ヶ日みかん粒入りドリンク」(三ヶ日町農業協同組合)です。

1990年代に流行した果粒入飲料を踏襲し、「昔なつかしい」をコンセプトとした飲みきりサイズのみかんジュースです。香料や保存料等の添加物を使用せず、砂糖の量を極力抑えることで、素材本来の味わいを楽しめるようにしました。

このほかにも静岡県ならではの商品を販売しています。
「静岡県 おいしず」でぜひ検索してみてください！

編集後記

東京事務所に赴任して二年目を迎えました。編集後記として、昨年度に続き、筆を執る機会をいただきました。

昨年一年を振り返りますと、省庁、企業をはじめ多くの皆様とご縁をいただき、名刺交換の数も800を超えました。その一つひとつの出会いが、静岡県と首都圏をつなぐ大切な架け橋となっていることを実感しております。

本年度もまた、新たな出会いに恵まれることを楽しみにしながら、本県の魅力と可能性をお伝えし、一層のつながりを築いてまいります。引き続き、本誌を通じてその一端をお届けできれば幸いです。



静岡県東京事務所次長 池田 典由

